

平成28年度行政事業レビューシート（厚生労働省）															
事業名		医薬品の安全性に関する情報の科学的・体系的収集、解析、評価及び提供に係る研究事業費				担当部局庁		医薬品食品衛生研究所			作成責任者				
事業開始年度		平成20年度		事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室		総務部 会計課			橋本 昌浩				
会計区分		一般会計													
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		-				関係する計画、 通知等		-							
主要政策・施策		医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション				主要経費		文教及び科学振興							
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		血液製剤によるHIV感染などを教訓とし、海外の重要な医薬品安全性情報について専門家が収集、分析、評価を行い、厚生労働省等の関連部署及び一般国民に対し、信頼できる最新情報として迅速に分かりやすく提供することにより、健康被害防止や安全性確保に資することを目的とする。													
事業概要 (5行程度以内。 別添可)		厚生労働省医薬品局安全対策課・審査管理課、医薬品医療機器総合機構、国立病院、一般の医師・薬剤師、一般国民に対し、①米国FDA、欧州EMA、WHOなどの公的機関や、国際的な主要医学雑誌N Engl J Med, JAMA, Lancet, BMJなどから、最新情報を収集、分析、評価し、重要なものについて日本語に翻訳・要約したものを、隔週、E-mailで情報提供し、ホームページ(HP)にも掲載する。②新たに生じた医薬品関連の課題(新型インフルエンザ流行時の抗ウイルス薬の緊急時使用、海外での医薬品のリスク最小化策の先行例など)に関し、海外公的機関の対策について情報提供やHPへの掲載を行う。③医薬品安全性の情報検索に有用なデータベースの構築を行う。													
実施方法		直接実施													
予算額・ 執行額 (単位:百万円)				25年度		26年度		27年度		28年度		29年度要求			
		予算 の 状 況	当初予算		26		18		17		17		16		
			補正予算		-		-		-		-				
			前年度から繰越し		-		-		-		-		-		
			翌年度へ繰越し		-		-		-		-				
			予備費等		-		-		-		-				
		計		26		18		17		17		16			
		執行額		25		17		16							
		執行率 (%)		96%		94%		94%							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標		成果指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度		目標最終年度 28 年度		
		平成28年度においては、ホームページの年間アクセス数50万件を獲得する。		ホームページの年間アクセス数		成果実績	万	66.6	55.9	50	-		-		
						目標値	万	50	50	50	-		50		
						達成度	%	133	112	100	-		-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標					単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込				
		「医薬品安全性情報」を隔週で年間26号発行目標とする。				活動実績	号	26	26	26	-				
						当初見込み	号	26	26	26	26				
単位当たり コスト		算出根拠					単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込				
		執行額(百万円)÷「医薬品安全性情報」の発行数				単位当たり コスト	百万円	1	0.7	0.6	0.7				
						計算式	/	25/26	17/25	16.4/26	17/26				
平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目			28年度当初予算		29年度要求		主な増減理由							
	諸謝金			1		1		不用が出ていた諸謝金、職員旅費の積算を見直したことによる減。							
	職員旅費			1		0									
	試験研究費			15		15									
	計			17		16									
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること												
		施策	XI-1-1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること												
		測定指標	定量的指標					単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度		目標年度 28 年度	
			国立医薬品食品衛生研究所における研究課題評価(毎年度実施)で平均3.5点を取得する。 ※総合評価は5点満点で、3点で「良好」の評価				実績値	点	4.5	3.8	4.4	-		-	
							目標値	点	3.5	3.5	3.5	-		3.5	
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係													
	アクション・プログラム	改革項目	分野:	-			-								
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)					単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度		目標最終年度 - 年度	
			-				成果実績	-	-	-	-	-		-	
							目標値	-	-	-	-	-		-	
							達成度	%	-	-	-	-		-	
		本事業の成果と改革項目・KPIとの関係													
-															

事業所管部局による点検・改善							
	項 目		評 価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	国立研究所の専門家による信頼できる医薬品安全性情報提供サイトとして、広く国民に利用されている。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国民の健康被害防止に資することを目的に行う事業であるため、国において実施することが適当である。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	海外の重要な医薬品安全性情報を専門家が収集、分析、評価し、信頼できる最新情報として提供することにより、健康被害防止や安全性確保に資することを目的としており優先度が高いと考える。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	会計法に基づき一般競争入札を実施し競争性を確保したが、結果として1者応札となった案件があった。随意契約を実施する際には、複数者から見積を徴収し、最廉価格の者と契約を締結した。競争性のない随意契約となったものについては、電気ガス水道によるライフラインに係る経費のみである。			
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		有				
	競争性のない随意契約となったものはないか。		有				
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	妥当なコストとなっている。			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	真に必要な経費のみ支出している。			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	調達の際に競争性を保つことで、より効率的な予算の執行に努めている。				
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	目標に見合ったものとなっている。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	事業目的達成のために効率的な方法で実施しており、また毎年度成果も着実にあげていることから、他の手段と比較して、実効性は高いと考えられる。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	「医薬品安全性情報」の発行実績は年26号で、見込に見合ったものとなっている。			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	医薬品安全性情報は、関係機関及び国民に広く活用されている。			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名				
点検・改善結果	点検結果	・「医薬品安全性情報」は、事業開始以来一度も中断することなく定期的に情報提供を行ってきた結果、ホームページへのアクセス総数は年間50万件となった。信頼性の高い重要な情報源として、関係者や国民からの需要が大きいため、引き続き現在の水準を維持していく必要がある。 ・前年度以前に国庫債務負担行為で賃貸借契約を結んだものについては契約期間終了後、再び賃貸借が必要な場合には、一般競争入札を実施し、競争性を確保する。 ・1者応札となった案件については、競争性が確保できているか見直す必要がある。 ・執行管理表により支出先及び使途等について管理を行い、経費の適切な執行に努めている。					
	改善の方向性	引き続き経費の適切な執行に努めるとともに、一般競争入札を実施する際は公告期間を十分確保する等、応札者が複数となるよう競争性を確保していきたい。					
外部有識者の所見							
点検対象外							
行政事業レビュー推進チームの所見							
現状通り	海外の重要な医薬品安全性情報について専門家が収集・分析・評価・情報提供することで、健康被害防止や安全性を確保するために必要な事業であるため、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
現状通り	-						
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	591	平成23年度	538	平成24年度	477		
平成25年度	861	平成26年度	861	平成27年度	872		
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。						
	国立医薬品食品衛生研究所 16. 4百万円 【一般競争入札】 A.WDB(株) 1百万円 〔 研究及び事務補助に係る人材派遣 〕 B.三井住友ファイナンス&リース(株) 5. 8百万円 〔 研究用システム賃貸借料 〕 D.事務費 8. 4百万円 〔 賃金、消耗品購入費等 〕 C.個人(3者) 1. 2百万円 〔 職員旅費、諸謝金 〕						

